



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「ワンチーム」

国際会長主題 「世界とともにワイズメン」 キム サンチェ (韓国)
 アジア太平洋地域会長主題 「100年を超えて変革しよう」 大野 勉 (神戸ポート)
 西日本区理事主題 「未来への挑戦」 新山 兼司 (京都トップス)
 中部部長主題 「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」 渡辺 真悟 (名古屋)
 名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』

— 今月の聖句 —

「あなたの敵が飢えていたら食べさせ、渴いていたら飲ませよ。そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。」 悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい。

(ローマの信徒への手紙 12章 20節～21節)

強調月間 Alexander Scholarship Fund・YMCA サービス

11月例会等ご案内

◎ 11月第1例会

日程：11月11日(木) 18:45～20:45

担当：柴田洋治郎君

会場：ラ・スースANN (食事あります)

開会宣言・点鐘：山田英次会長

ワイズソング

五つの信条 太田全哉君

開会祈祷：松本勝君

卓話：『ゼンマイ時計、時計師としての経験談』

講師：成瀬拓郎氏 (ナルセ時計(株)代表取締役)

・2005 愛知万博に巨大からくり時計出展

・2011年名古屋市科学館の巨大時計制作

諸連絡

閉会宣言・点鐘：山田英次会長

◎ 11月第2例会

日程：11月18日(木) 19:00～

会場：名古屋YMCA

◎ 第28回チャリティーラン

日程：11月13日(土)

会場：名城公園

◎ YM・YW合同祈祷週

日程：11月20日(土) 10:00～11:30

会場：名古屋YWCA 2F

オンライン参加できます。691-7707まで

◎ クリスマス例会

日程：12月5日 17時～

(会場の都合で5日に変更します)

会場：ラ・スースANN

東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 10月末一在籍者20名
(内広義会員2名)

出席者 15名 (Make up1名)

出席率 83.3%

【特別ファンド】

10月ファンド +11,060円

繰入金他 +205,846円

中バス支援支出 -50,000円

現在保有額 1,619,540円

10月第1例会報告

『結婚しない子どもたち』

講師：服部金弘氏

緊急事態宣言が解除され、8月の納涼例会以来2ヶ月ぶりの第1例会に、渡辺中部部長の公式訪問を受けました。



今回卓話の講師はNPO「縁結び四つ葉親の会」代表服部金弘氏。服部氏は息子さんの結婚に苦労された経験から、結婚しない子どもに苦労している親御さんも多いに違いないと、私財を投じて2008年10月に会を結成運営し、また地下鉄八事駅近くに婚活の拠点になるサロンをも開設されています。活動としては、婚活サロンの運営の他、未婚者同士・親同士の交流会も定期的に開催されています。



講師の経験では、未婚者は皆不安で、90%は結婚したいと思っているので、後ろからそっと背中をおしてやるのが大切とのこと。「愚痴」は禁物で、『親が言ってはいけない言葉11』を伺いました。①結婚と仕事とどちらが大事なの、②結婚してないなんて、親が恥ずかしいよ、③子育てに失敗してしまった、④結婚できないのは体が悪いんじゃないの？⑤早く孫を抱きたいね！⑥あなたは長男（長女）なんだから家を継いでくれないとね、⑦あなたより学歴の低い人はダメだよ、⑧そんな会社聞いたことないよ、⑨結婚してやっと一人前だよ、⑩親はいつまでも元気であるわけじゃないのよ、⑪あなたの友達はみんな結婚しているのに。



いずれも親が子供の尊厳を壊すことを言うてはならないのだと「なるほど」と納得致しました。

最近の若者を見ていて感じていたことですが、男性は女性をエスコートできないという指摘には共感しました。女性が男性をエスコートし、お金は男性が払うという様はいかにも現在の若者の姿かなと思いました。（松本）

【出席者】浅野、大島、神谷、木村、柴田、谷口、中江、橋爪、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾、

【ゲスト】渡辺中部部長（名古屋クラブ）

谷川中部事務局長（名古屋クラブ）

10月第2例会報告

学生運動

柴田洋治郎

1. 11月第1例会について

会場をラ・スースANNに戻し、食事も提供することを了解した。但し、諸事情で飲食を控える必要のある方は、その旨知らせてもらい対応する。

2. チャリティーランについて

例年通り2チーム分のエントリー費を支援することを確認した。クラブとしてはインターアクトクラブが出場するのであれば、そちらを支援したいが、支援先はYMCAに一任する。

なお、当日ラッフルを実施する予定なので、11月第1例会にてラッフル券の購入をメンバーに呼びかける

3. クリスマス例会について

12月~~12~~日(日)5時からラ・スースANNにて実施を確認し、担当の山村君にラ・スースとの交渉を依頼した。メンバー以外の対象者をどうするか?は11月第1例会にて決定する。それによりプログラム等を考えることにする。(日程は会場の都合で後日5日に変更されました)

4. クリスマスカードコンテスト協力について

審査会：11月20日(金)

東海賞作品を決める人が必要

表彰式：12月5日(日)

会長は出席し、表彰状を授与する

展示：12月21日(火)～26日(日)

市民ギャラリー矢田にて20日取付・27日撤収の手伝い必要

5. その他

- ・国際協力街頭募金は実施しない(YMCAに確認した)

- ・次期中部国際・交流主査の件 継続課題

【出席者】浅野、大島、太田、木村、柴田、谷口、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾

土曜日朝に自宅パソコンを開くと、松本ワイズから11月の原稿当番は私で、締め切りは10月26日というメールが届いていたので慌てて、何をテーマにしようかと迷っていたところ、家の外から選挙カーのマイク音が聞こえた。政治の季節の到来である。飛躍しすぎであるが、今回、政治とマイクを「学生運動」にこじつけてみた。このテーマについては、書店のコーナーに今年亡くなったジャーナリストでノンフィクション作家でもある立花隆氏の作品が多く並べられていた中で講談社文庫の「中核 vs 革マル」(初刊1983年)を読んだのもきっかけである。以下の話は私と同年代より下の方には少し理解しにくいかもしれないので前以てお断りしておきます。



私は1969年(東大安田講堂攻防戦の年)に大学に入学し、それから4年間、まさに学生運動/全共闘運動をまじかに見てきた。入学式当日、大学はロックアウトされており、5月の連休まで休校であった。大学キャンパスへ行けば、おなじみのヘルメットに白手拭いで顔を覆い、角棒や竹竿を持った、所謂過激派の一群が、マイクでがなりたて、シュプレヒコールを叫ぶ姿は日常茶飯であった。暴力沙汰も屢々起きていた。私の大学は、中核や革マルの拠点校ではなかったが、他の過激派の拠点校であった。一方私はノンポリとして、サッカーとアルバイトに精を出し、この運動を醒

めた目で眺めていた。実際のところ、冷やかしてデモに参加する者が周りにもいたが大多数は私と同じ立場で、幸か不幸か、授業も試験もろくに受けなかったものの無事卒業し普通の社会人になっている。

中核派、革マル派は反帝国主義、反スターリン主義を標榜した代表的な新左翼であるが、戦後民主主義国家となった日本は政治的には左翼の勢力が強くなり保守派と対峙してきた。この中で共産主義運動の内、学生運動は第一次安保闘争(1960年岸訪米阻止)を経て徐々に過激化し、約10年後には佐藤訪米阻止、佐世保エンタープライズ寄港阻止、三里塚(成田空港)等で、ヘルメット、ゲバ棒というゲバルト路線が始まった。象徴的には先述した東大安田講堂砦攻防戦がある。



投石や催涙ガス弾の飛び交うこの事件はテレビで生中継され、オリンピック中継以上の視聴率を取ったほど全国民の関心をひきつけた。

これと前後して赤軍派の登場により、日航機ハイジャック、テルアビブ空港乱射事件等々、日本国内に留まらない国際テロへと発展していった。

1972年の「あさま山荘事件」は連合赤軍と機動隊の攻防戦は戦争そのもので、マスコミや一般大衆にとっては野次馬的なものも含め大きな関心を集めた。

この本には全共闘各派のセクト争い、内ゲバの様子も記されているが、分裂を繰り返し、死者を出したり、交番焼き討ち事件等を引き起こすに至り、国民の支持を失い、今日に至っている。今考

えるとあの時代は何だったのかと思うと同時に、自分も当時の社会矛盾をもっと見つめるべきだったのかとも思う。

「勝手に根の上まつり」

八木武志

根の上を愛する会の山村さん(名古屋東海ワイズ)が時々キャンプ場の整備に行き、手入れをしてきています。今年も根の上まつりに備え、駐車場や通路に砂利を撒き、草刈り、ゴミの処分などをして皆さんを迎える準備をしてきました。根の上まつりが中止となり、11月のキャンプ場の冬季閉鎖の作業の前の準備作業をしようと名古屋東海ワイズメンズクラブの有志が「勝手に根の上まつり」を計画し、10月9日(土)～10日(日)に「あかまんま」に1泊し実行しました。

参加者は山田会長、浅野モージュー、八木ブシ、山村ヨシクン、長谷川さん、太田直前会長、そして元東海クラブ担当主事の秋重(シゲさん) 殉さんの7名。9日は「あかまんま」で久しぶりの歓談会、大いに飲み、語り合いました。10日、キャンプ場に行き、山村さんによって整備された状況に感謝しました。来春4月の根の上まつりでまた皆さんと再会できることを祈っています。



太田直前会長はあかまんまに泊まらずキャンプ場にテントを張って寝ました。



根の上だより特別号の一部を転載しました

【今後の例会担当】

12月：クリスマス例会山村・中江・神谷
1月：鈴木孝

【今後のブリテン寄稿担当】

12月号：木村 1月号：谷口